

第3回

看護師
向け

がん患者妊孕性支援 スキルアップセミナー

若年がん患者への、治療開始前の妊孕性温存治療に対する情報提供は推進される一方で、臨床現場では、妊孕性温存治療への意思決定の難しさや、治療後の妊娠出産をどのように継続的に支援していくかといった実際の支援のあり方に悩む場面が増えています。

本セミナーでは、実際の臨床現場でヘルスケアプロバイダーが悩むことの多い事例について、がん医療・生殖医療の両面から検討し、具体的な支援のあり方について考えていきます。

2019年1月20日(日) 13:00-17:00

会場

上智大学 四谷キャンパス 6号館306号室

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

定員

80名

参加費

5,000円

事前参加登録申し込み締め切り：1月10日(木)まで

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 12:40 | 開場 |
| 13:00-13:05 | 開会の挨拶 |
| 13:05-13:55 | がんと生殖医療の現状と課題
(日本がん・生殖医療学会 理事長／聖マリアンナ医科大学 産婦人科学講座 教授 鈴木直 先生) |
| 13:55-14:35 | がん患者の妊孕性支援における看護の役割
(上智大学 総合人間科学部 看護学科 渡邊知映 先生) |
| 14:35-14:45 | 休憩 |
| 14:45-16:45 | 事例検討 各事例紹介 10分 + 討論 30分
●事例Ⅰ 思春期女子の妊孕性温存の意思決定を支える
●事例Ⅱ 乳がん患者の治療後の妊娠・出産を支える
●事例Ⅲ 進行がん男性とそのパートナーの家族を持つことを支える |
| 16:45-16:55 | まとめ |
| 16:55-17:00 | 閉会の挨拶 アンケート記入 |

主催：



特定非営利活動法人

日本がん・生殖医療学会